

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-90	高等学校	国 語	現代文B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	現B 321	新編現代文B		

1.編修の基本方針

①近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。

- 近代以降の文章の中から、「小説」「評論」「随想」「詩」「短歌」「俳句」を取り上げ、的確に理解するためのポイントを「学習の手引き」に示しました。
- 「言語活動編」に設けた「メディアの特色を生かして表現する」「図表から情報を読み取って論じる」「課題を設定して調べた成果をまとめる」などの学習を通じて、適切に表現する能力を高められるようにしました。

②文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を深め、内面を豊かに形成する。

- 「言語活動編」に設けた「文学的文章を読んで話し合う」「論理的文章を読んで意見文を書く」「複数の観点を生かして理解を深める」などの学習を通じて、文章を読んだ後に、ものの見方、感じ方、考え方を深められるようにしました。
- 書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確に捉え、表現を味わったり、また文章を批評して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりできるよう、各教材末に「表現と言語活動」などの項目を用意しました。

③進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

- 生徒の読書意識を喚起し、読書の幅を広げられるよう、附録「読書案内」を設けました。

2.対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
I 部	1 随想	桜に対する日本人とヨーロッパの人の感性の違いを通じて、日本人にとって桜が格別な存在であることを述べる随想を用意しました。(第5号)	→14～20ページ
	2 小説1	植物を大切にした祖母と、その祖母から「みどりのゆび」(植物を育てる才能)を受け継いだ「私」を描いた小説を用意しました。(第4号)	→24～38ページ
		少年野球団のキャプテンの当時と大人になった今を浮かび上がらせ、人を信じることの意味について問いかける小説を用意しました。(第3号)	→39～54ページ
	3 評論1	生物と非生物を区別する、生命の特徴について考察し、生命の不思議さについて考えさせる評論を用意しました。(第4号) 人間の内的な世界と切り離されたところで発展してきた自然科学の限界を論じ、物語や神話が、人間と世界との関わりを理解する重要な役割を果たすのだと述べる評論を用意しました。(第1号)	→58～66ページ →67～73ページ
4 詩歌	P76「一つのメルヘン」、P78「I was born」など、高校生の情操を培うのにふさわしい詩・短歌・俳句を用意しました。(第1号)	→76～88ページ	

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
I 部	5 小説2	・閉鎖的で絶望的な状況における悲しみや孤独感を寓意的に描き、他者との関わりによって、その孤独な魂が僅かに慰められる小説を用意しました。(第3号)	→90～103ページ
	6 評論2	・個人生活や社会生活において、すぐには答えが出ない困難な問題に直面した時、分からないまま正確に対処することができるよう、思考に体力をつけることが必要であると説く評論を用意しました。(第3号)	→116～122ページ
		・安心とは頼れる人がそばにいてくれること、という世界に共通する感覚を挙げる一方で、冒頭の車の例を理解できない貧しい国の人々がいることにも触れ、広く社会や世界に目を向けさせる随想を用意しました。(第5号)	→123～131ページ
	7 小説3	・自らの恋を成就させるために親友を裏切り自殺に追い込むことになってしまった「私」の揺れ動く心情を描き、人間のエゴイズムについて考えさせる小説を用意しました。(第1号)	→134～168ページ
8 働くよるこび	・精魂込めた仕事の成果を否定された経験から、やりたいことと求められることの合致の難しさを感じる筆者が、仕事の奥深さについて考える随想を用意しました。(第2号)	→172～177ページ	
	・「楽しく働く」ことが単純に「楽しく働く」ことにつながるわけではないのではないか、と問いかけ、筆者自身が「楽しく働く」ために参考になった本を紹介する文章を用意しました。(第2号)	→178～188ページ	
II 部	1 評論1	・不確実な状況下で判断を下すことの困難を乗り越えようとする感情が、創造性を支えているのであると説く評論を用意しました。(第3号)	→190～197ページ
		・生物が多様であることの重要性を説き、その保全のためには、量から質へ、豊かさの捉え方を変えるべきであると述べる評論を用意しました。(第4号)	→198～205ページ
	2 小説1	・理由も分からないまま突然虎となった男の物語を通して、人間の不条理さや過剰な自意識に苦しむ人間の悲劇、妻子や友人を失い獣の姿になってまで芸術に執着する者の宿命的な苦悩などについて考えさせる小説を用意しました。(第1号)	→208～224ページ
	3 随想	・戦争や震災といった強烈な体験をした人たちの語りを聞いた筆者が、自己や世界はさまざまな物語を寄せ集めて形成されると述べる随想を用意しました。(第5号)	→238～244ページ
		・喫茶店で開店準備をする女性の観察から、そのような平凡な日々の細部の積み重ねが私たちの生の容貌であり、それに耐えることでしか生の次の段階は開かれないのだと述べる随想を用意しました。(第2号)	→245～251ページ
	4 詩歌	・P256「竹」、P258「永訣の朝」など、高校生の情操を培うのにふさわしい詩・短歌・俳句を用意しました。(第1号)	→256～268ページ
5 評論2	・外国語の学習や、日本語と英語における色の認識の違いなどを例に、言葉の意味を知っているということはどういうことか、について考察した評論を用意しました。(第5号)	→270～276ページ	
	・人間の知性は、学識や教養といった要素だけでなく、協調性や道徳観といった要素を併せ持った総合的なものを指すと述べる評論を用意しました。(第1号)	→277～285ページ	
6 小説2	・自分の意志で鞆を持っているつもりで、実は鞆に制御される青年や「私」を描くことで、負荷を欲し、拘束されることに安堵さえ覚える現代人の姿を風刺した小説を用意しました。(第2号)	→290～297ページ	

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
7 評論3	・大阪万博が示した未来社会を例に、「未来」というものは現在時の中の人々の予想や予期や想像の中にあり、それらを生み出す社会意識の中にあるのだと述べる評論を用意しました。(第3号)	→325～335ページ
	・馬車に乗り合わせた人々と、その人々に起こる出来事を、「蠅」の視点から描き、偶然の事故により運命を狂わされる人間のむなしさを浮き彫りにする小説を用意しました。(第1号)	→352～364ページ
8 小説3	・小説の人物の生き方について考えたことを、本文の表現に基づきながら主体的に話し合う教材を用意しました。(第3号)	→366～367ページ
	・海外の漫画の内容を素材に書かれた論理的文章を、批判的・肯定的な視点から読み、疑問点などを調べ、それらの情報をもとに意見文を書く教材を用意しました。(第5号)	→368～371ページ
	・メディアの特色を理解し、自分の読んだ本について、ポップや帯、図書館便りなどを作る教材を用意しました。(第1号)	→372～375ページ
	・生物多様性問題を例に、複数の図から情報を読み取って論じる教材を用意しました。(第4号)	→376～379ページ
	・一つのテーマについて、複数の異なる観点から見た他者と意見を交流し、自分の考えを深める教材を用意しました。(第1号)	→380～383ページ
	・ごみ処理やリサイクルの実態と問題点を例に、課題を設定して、調査したことを報告書にまとめる教材を用意しました。(第4号)	→384～388ページ
言語活動編		

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 日常的に読書に親しみ教養を高めるために、「読書案内」を設け、日本の小説や外国文学、現代評論を紹介しました。(学校教育法第51条2号)
- 社会使命や将来の職業選択について考えることができるように、「働くよろこび」単元を設けました。また社会人として必要とされる国語の能力の基礎を身につけることができるように、コラム「言葉の扉」(4か所)を設け、言葉に対する関心を喚起し、言葉の正しい使い方について考える内容を示しました。更に「言語活動編」において、テーマや課題を設定して話し合う学習や、批判的な視点と肯定的な視点の両方から文章を読んで意見文を書く学習、さまざまなメディアの特色を理解して表現する学習、複数の図表から情報を読み取り論じる学習、自ら課題を設定して報告書にまとめる学習などを取り上げました。(学校教育法第51条3号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-90	高等学校	国語	現代文B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2 東書	現B 321	新編現代文B		

1.編修上特に意を用いた点や特色

①**目標**…近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てるという「目標」に示された能力を養うため、学習が効率的・有機的に行えるように配慮しました。

②内容

(1)

ア：評論教材においては、文章の構成、展開、要旨などを的確に捉える助けとなるよう、「学習の手引き」を教材末に示しました。

イ：小説・随想教材においては、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確に捉え、表現を味わう助けとなるよう、「学習の手引き」を教材末に示しました。

ウ：評論教材においては、人間、社会、自然などに関する諸問題について論じた文章を掲載しました。また、自分の考えを深めたり発展させたりする助けとなるよう、コラム「考える楽しみ」を設けました。

エ：収集したさまざまな情報を分析、整理して資料を作成したり、自分の考えを効果的に表現したりする教材を、「言語活動編」に設けました。

オ：語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにする助けとなるよう、掲載教材の脚注欄に「注意すべき語句」「漢字」を適宜示しました。また、教材末には、「漢字と語彙」を設け、その教材で学習すべき漢字や語彙を挙げました。更に、言葉を正しく分かりやすく使うことの大切さについて学ぶコラム「言葉の扉」を設けました。

(2)

ア～エ：言語活動の具体的な方法などを示した教材を、「言語活動編」として6教材設けました。更に、教材末には「表現と言語活動」を設け、掲載教材と関連して指導できるように配慮しました。

③内容の取扱い

・話すこと・聞くこと、書くこと及び読むことについて相互に密接な関連を図り、効果的に指導できるように配慮しました。「言語活動編」では、「文学的文章を読んで話し合う」で「山月記」を素材とするなど、「読む」教材との相互関連を適宜図りました。

・生徒の読書意欲を喚起し、読書の幅を一層広げ、文字・活字文化に対する理解が深められるよう、附録「読書案内」を設け、日本の小説や外国文学、現代評論を紹介しました。

・近代以降の文章や文学の変遷について必要に応じて扱えるよう、巻末に「日本 近代 現代 文学史年表」を設け、教材として取り上げた作品に網掛けを施しました。また、巻末に「近現代の作家」を設け、小説・詩教材の代表的な作者について、作者自身や掲載以外の作品について知ることで、発展的な読書にも結びつけられるようにしました。

・現代の社会生活で必要とされている実用的な文章として、「言語活動編」の「課題を設定して調べた成果をまとめる」で新聞記事を取り上げました。また、近代以降の文語文として、「竹」、短歌・俳句を取り上げました。

2.対照表

単元	教材名	(1)指導事項との対応					(2)言語活動例との対応				頁
		ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	
I 部											
1随想	こそめスープ		○			○	○				8
	さくらさくらさくら		○			○	○				14
	言葉の扉①					○					21
2小説1	みどりのゆび		○			○	○				24
	ナイン		○		○	○			○		39
	小説の楽しみ①		○								55
3評論1	生命とは何か	○				○					58
	「ふしぎ」ということ	○		○		○		○			67
	考える楽しみ①			○							74
4詩歌	一つのメルヘン		○			○	○				76
	I was born		○			○					78
	ぶうぶう紙を…		○			○					82
	信濃路【短歌】		○		○	○	○				85
5小説2	山椒魚		○			○					90
	旅する本		○			○	○				104
	小説の楽しみ②		○								114
6評論2	思考の肺活量	○				○					116
	安心について	○		○		○		○			123
	考える楽しみ②			○							132
7小説3	こころ		○			○	○				134
	言葉の扉②					○					169
8働くよろこび	分からないからおもしろい		○		○	○	○				172
	楽に働くこと、楽しく働くこと		○		○	○	○				178
	情景のなかの労働		○								184
	鉄, 千年のいのち		○								187

単元	教材名	(1)指導事項との対応					(2)言語活動例との対応				頁
		ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	
Ⅱ部											
1評論1	最初のペンギン	○			○	○				○	190
	豊かさと生物多様性	○			○	○			○		198
	考える楽しみ③			○							206
2小説1	山月記		○			○	○				208
	カンガルー日和		○			○	○				225
	小説の楽しみ③		○								236
3随想	物語の外から		○			○	○				238
	カフェの開店準備		○			○	○				245
	言葉の扉③					○					252
4詩歌	竹		○			○					256
	永訣の朝		○			○	○				258
	一日の長さ		○			○					263
	春雷【俳句】		○		○	○					266
5評論2	言葉は世界を切り分ける	○				○					270
	もう一つの知性	○		○		○		○			277
	言葉の扉④										286
6小説2	鞆		○		○	○			○		290
	ベル・エポック		○			○	○				298
	小説の楽しみ④		○								314
7評論3	ホンモノのおカネの作り方	○				○					316
	未来のありか	○			○	○				○	325
	考える楽しみ④			○							336
8小説3	葉桜と魔笛		○			○	○				338
	蠅		○			○	○				352
言語活動編	文学的文章を読んで話し合う		○		○		○				366
	論理的文章を読んで意見文を書く			○	○			○			368
	メディアの特色を生かして表現する				○				○		372
	図表から情報を読み取って論じる				○				○		376
	複数の観点を生かして理解を深める		○		○		○				380
	課題を設定して調べた成果をまとめる				○					○	384